

ナンバープレートの塗装と汚れ防止対策について

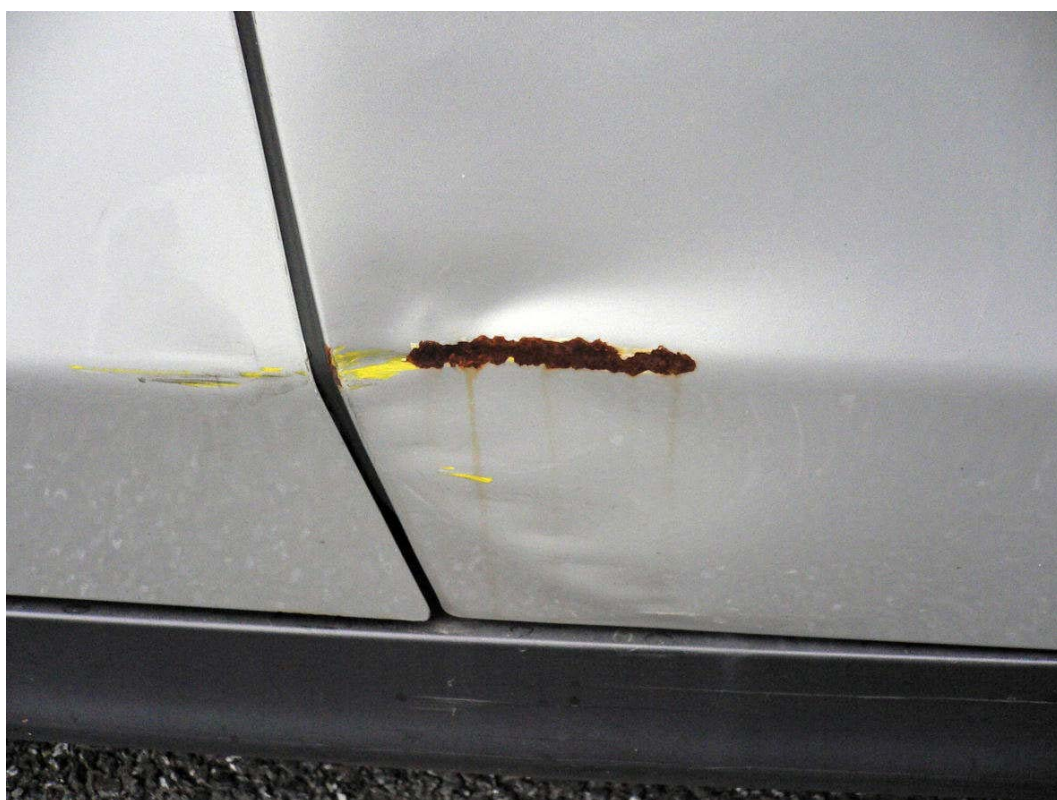
小 松 自 動 車 工 業 株 式 会 社

車 ボ デ ィ ー 傷 例

① 車ドア左下部



② 同上部拡大



プレート装着状況の例

①



②



③



④



⑤



⑥



廃 標 洗 淨 試 験 結 果

1：使用洗浄剤

	商 品 名 称	主 要 成 分	特記（性状他）
①	A 社 シ ャ ン プ ー	陰イオン界面活性剤、両性界面活性剤、 洗浄助剤	液体
②	B 社 ク リ ー ナ ー	界面活性剤、アルカリ剤	液体 アルカリ性
③	C 社 シ ャ ン プ ー	非イオン系界面活性剤、陰イオン系 界面活性剤、シリコーンオイル、 研磨剤	液体 中性 コンパウンド入り

使用方法

- ①水をかけて砂や泥汚れを洗い流した後、30mlを水1ℓに薄め、スポンジに含ませて洗い、水で洗い流す。
- ②水をかけて砂や泥汚れを洗い流した後、汚れた箇所にスプレーし2～3分放置し水を含ませたスポンジで擦り、その後水洗いする。
- ③水をかけて砂や泥汚れを洗い流した後、水を含ませたスポンジに液体を取り、よく泡立てて汚れた部分にすり込むようにして洗う。
洗車後は泡がなくなるまで水で充分洗い流し、布などで水滴が残らないよう拭き上げる。

① A 社シャンプーと② B 社クリーナー

製造年月 : 平成 1 5 年 6 月

汚れ種類 : 水あかによる汚れが全面にある。



洗浄方法

かな文字部

① A 社シャンプー

一連番号「0」

② B 社クリーナー



①による洗浄では、
一部に汚れ、シミが
残っているのに対し、
②で洗浄した部分はき
れいになっている。

② B 社 ク リ ー ナ ー と ③ C 社 シ ャ ン プ ー

製造年月 : 平成15年6月

汚れ種類 : 水あかによる汚れが全面にある。



洗浄方法

かな文字部

② B 社 ク リ ー ナ ー

一連番号より右側

③ C 社 シ ャ ン プ ー



両方の薬品とも洗浄力はかなり強力。

③で洗浄した部分の方が虫汚れ、シミともきれいになっているが、強く擦ると、塗料の落ちが見られる。

提供サンプル洗浄試験結果



初年登録　：平成　８年　８月

使用洗浄剤：③Ｃ社シャンプー

汚れ種類　：水あか、虫(少ない)

汚れはかなりきれいになり、光沢も出ている。

考 察

- 1 : 適切な洗浄剤を用いると、ナンバープレートの汚れ、シミ、虫による汚れなどはかなりの部分取り除くことが可能。
- 2 : 虫汚れを取り除く薬品などにはアルカリ性のものがあり、その場合アルミ（ナンバープレート素材）への使用には注意が必要（アルカリ性の薬品はアルミニウムを腐食させる
：今回の試験では異常は認められなかったが、繰り返しの使用、薬品を付けたままの放置には注意が必要なものと思われる）。
- 3 : コンパウンド入りの洗浄剤は汚れを落とす力が強いので、柔らかい布・スポンジで軽く擦ってきれいにするのが肝要である。
このような使用方法を守らず、強い力でかつ堅い布などで汚れを落とそうとすると、塗膜まで傷めてしまうので注意が必要。
- 4 : ナンバープレートの汚れなどは、汚れが付着してからなるべく早く洗い流すことが重要で、放置すると汚れが落ちにくくなる。

以上